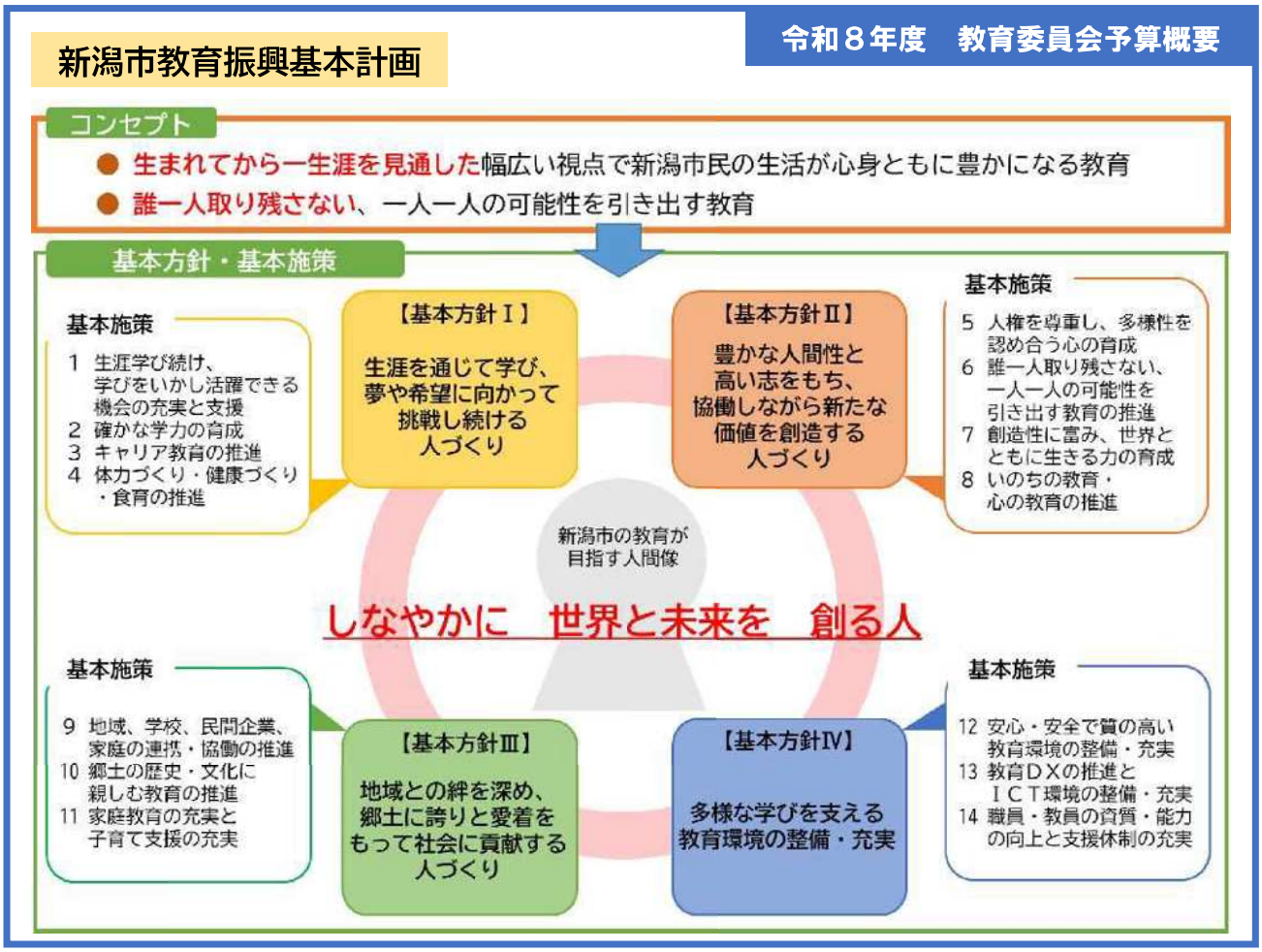
新潟市教育振興基本計画



≪４つの基本方針に基づき令和８年度の施策を展開≫

【基本方針Ⅰ】
生涯を通じて学び、夢や希望にむかって挑戦し続ける人づくり

○学校給食の充実　　【拡充】　7,185,166千円
・安心・安全な学校給食の提供や、食育の推進に取り組むとともに、令和8年度から国が始める「小学校給食費の抜本的な負担軽減」の制度や交付金活用を通じて、給食費の保護者支援を図る

○生涯学習推進事業
・市民の主体的な学習活動を推進するため、生涯学習ボランティアの育成及び活動の活性化を支援する

○「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善の推進
・「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業やその他の教育活動を展開するため、指導方法の研修や実践例の紹介などを行う

【基本方針Ⅱ 】
豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり

○不登校対策事業　　【拡充】　　92,308千円
・スペシャルサポートルーム（ＳＳＲ）の設置を促進するとともに、スクールカウンセラー（ＳＣ）、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の配置の充実を図る

○こども・学校サポーター配置事業　6,780千円
・特別な支援を必要とする児童への学習・自立支援のため、通常の学級と特別支援学級にこどもサポーターを配置する
・教員の負担軽減につながるよう休暇取得等の際に学校サポーターを配置する

○公立夜間中学の設置準備　　27,112千円
・義務教育を受ける機会を確保するため、公立夜間中学の開設に向け、生徒募集や施設改修工事を行う。

○読書バリアフリー推進事業　　984千円
・対面朗読や音訳資料の提供など、バリアフリーの視点での読書環境の整備を行う

【基本方針Ⅲ 】
地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり

〇中学生のための地域クラブ活動支援事業等　　【拡充】　88,300千円
・地域クラブ活動を継続かつ充実させるため、補助内容を拡充するとともに、指導者登録研修等の認定制度構築に取り組む。

〇地域とともにある学校づくり推進事業　　199,008千円
・地域とともにある学校づくりを推進するため、学び合う場の充実を図る
・学校教育のさらなる充実を図るため、地域人材の参画や活用を促進する

【基本方針Ⅳ 】
多様な学びを支える教育環境の整備・充実

〇教員業務支援員配置事業　【拡充】　418,300千円
・教員業務支援員を増員することで兼務校を減らし、さらなる教員の負担軽減を図るとともに、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を構築する

〇空調設備整備事業　　2,089,700千円
・既存空調設備の更新、エアコン未設置の特別教室及び給食調理室の整備についてはR９年度完了予定

〇坂井輪中学校改築事業　　297,170千円
・Ｒ8実施設計、R12.1月 新校舎供用開始予定

〇図書館サービス向上事業　　【拡充】　323,083千円
・図書館情報システムを更新し、オンラインでの利用申請などICTを活用した図書館サービスの充実を図る（R9.3月稼働予定）

新潟市立夜間中学について

新潟市教育委員会　教育総務課

詳しい情報は　新潟市　夜間中学　検索　又は

1

1

公立夜間中学とは

- 義務教育を受けるべき時期に十分な教育を受けることができなかった方々に対して、教育を受ける機会を保障する
- 学校教育法第１条にもとづく中学校（いわゆる「一条校」）
- 必要な教育課程を修了すれば、中学校卒業資格を与える
- 全国に69校が設置されている（R8年4月現在）

2

2

新潟市の状況

義務教育未修了者	不登校児童生徒数	外国人住民数
8,716人 （令和２年国勢調査）	2,301人 （令和６年度）	8,167人 （令和８年４月）
・市人口の約1.2% ・20政令市中、５番目に多い人数	・令和元年度の2.1倍 ・実質的に教育を受けられないまま卒業したケースあり	・市人口の1.09% ・令和元年5月の1.4倍 ・本国や日本において義務教育を修了していないケースあり

3

3

新潟市が設置する夜間中学

県内初の公立夜間中学

校　名　新潟市立　新星（しんせい）中学校

開校予定時期　令和9(2027)年4月

開校予定場所　新潟市立明鏡高校 内

設置形態　専任校長を配置する単独校として設置

学校規模　１学年１学級（全校３学級）
（全校生徒20～40名程度を想定。定員は設けない。）

4

4

新潟市立新星中学校の設置予定場所

住所

新潟市中央区沼垂東6丁目11－1
（新潟市立明鏡高校内）

アクセス

- 新潟駅から中央埠頭バス停まで
  路線バスで11～16分
- 中央埠頭バス停から学校まで
  徒歩５～10分

5

5

入学できる方

義務教育を受けるべき年齢を過ぎた方で、原則として新潟市に居住し※、以下のいずれかの要件に当てはまる方。国籍は問わない。

① 様々な理由によって義務教育を修了していない方。
② 中学校を卒業していても、不登校などの理由により、中学校の授業を十分に受けることができなかった方。

※県内他市町村に居住している人が新潟市立新星中学校への入学を希望した場合は、各市町村と協定を結んだ上で、入学を認める方向で調整する。

6

6

夜間中学に入学する方のイメージ

※働きながら夜間中学に入学する場合あり

義務教育未修了 未就学
- 就職・在家 → 夜間中学

中学校卒業
十分な教育を受けられなかった

【理由】
・不登校　・いじめ
・虐待　・病気
・ヤングケアラー
・日本語の理解不足
・必要な支援を受けなかった
など

- → 夜間中学
- 在家 → 夜間中学
- 高校（中退） → 夜間中学
- 高校（中退） → 在家・就職 → 夜間中学
- 高校（卒業） → 夜間中学
- 高校（卒業） → 就職 → 夜間中学

母国の中学校卒業
義務教育期間9年未満
- → 夜間中学
- 就職・在家 → 夜間中学

7

7

入学・卒業に関すること

入学時期　原則４月入学

・個々の状況に応じて、後期開始（10月途中）からの入学を可能とする。

入学学年　原則第１学年からの入学

・学習履歴や生徒本人の意向等を踏まえ、教育上の支障がないと判断した時は、第２学年や第３学年からの入学を可能とする。

修業年限　原則３年（最長６年）

・第２学年や第３学年から入学した場合の修業年限は、それぞれ２年、１年が原則。
・必要な教育課程の修了が困難な場合は、最長６年までの在学を可能とする。
・卒業認定は、学習履歴や生徒本人の意向を踏まえて校長が判断する。
・必要な教育課程を修了した生徒には、中学校の卒業資格を与える。
・一定期間、通学が困難な状況が発生した場合は、校長判断により休学を可能とする。

8

8

新潟市立新星中学校が目指す姿

生徒一人一人の「学びたい」という思いにこたえ、豊かな社会生活を支援する学校

学びの経験や生活背景、就学目的などが異なる様々な生徒一人一人が、学ぶ楽しさを感じながら、**学びに対する願いを実現できる学校**を目指します。

社会とつながる場所や**「居場所」**としての役割を果たし、**生徒の豊かな社会生活を支援する学校**を目指します。

目指す姿を実現するために必要な学校づくりの視点

- 多様なニーズに応じ、可能性を引き出す学習指導
- 安心で、居心地の良い場所にするための取組
- 豊かな社会生活を送るための教育活動や支援体制

9

9

授業に関すること①

授業日数

週５日、年間200日前後

長期休業

夏休み、冬休み、春休み等あり

学期

２学期制（前期・後期）

１日の流れ（現時点のイメージ）

学　活	17:50～17:55（ 5分）
1　限	17:55～18:35（40分）
2　限	18:40～19:20（40分）
休　憩	19:20～19:35（15分）
3　限	19:35～20:15（40分）
4　限	20:20～21:00（40分）
終学活	21:00～21:10（10分）

10

10

授業に関すること②

学習する教科

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語
道徳、学級活動、総合的な学習の時間

※他に、学校行事の実施を検討

授業の進め方

・一部の教科では、習熟度別に少人数授業を実施　※詳細は次のページで説明
・学習用タブレット端末（ｉＰａｄ）を活用
・事情のある生徒への学習支援として、オンライン授業配信を検討
※対面での授業参加が原則

11

11

授業に関すること③

習熟度別学習コース（イメージ）

※一部教科で実施

コース名	主な学習内容
ベーシックコース	小学校の学習内容
ホップコース	中学１年生の学習内容
ステップコース	中学２年生の学習内容
ジャンプコース	中学３年生の学習内容

・学習歴や習熟度に応じ、学年に関係なくコースを選ぶことができる。
・希望すれば、年度が替わっても同じコースを選ぶこともできる。

12

12

職員体制

きめ細かな学習指導が行えるよう、職員体制の充実を図る
（１つの授業を複数の教員が担当する体制づくりを進める）

・新潟市立小・中学校教職員配当基準に基づき、教職員を配置する。
・全教科の授業に対応した体制を整備する。
・加配定数に基づく教員の配置を検討する。

市民によるボランティアを募集（生徒の学習を支援）

13

13

生徒への支援体制

教育相談	・教職員やｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ、ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰによる教育相談の充実
合理的配慮	・特別な支援を必要とする生徒に対する合理的配慮を提供
日本語学習	・日本語に不安のある生徒に対する日本語学習の実施を検討
進路指導	・高校進学や就職に対するニーズに対応するための進路指導の充実
関係機関との連携	・学校、福祉、雇用、外国人住民支援、社会教育等に関する関係機関が連携・協力し、生徒の社会生活の充実等を支援する仕組みづくりを推進

14

14

その他

費用負担	・授業料や入学金はかからない。教科書は無償給与 ・副教材費や体験学習にかかる費用等は自己負担
経済的支援	・経済的事情により就学が困難な生徒への経済的支援を検討
制服等	・制服、通学カバン、通学靴、体育着は指定しない
給食	・給食は提供しない（持参したものを休み時間に食べることは可能）
通学方法	・徒歩、自転車、公共交通機関による通学を原則とする ・学割について公共交通機関と協議 ・特別の事情がある場合の自動車・バイク登校について検討

15

15

生徒募集に向けた予定

学校説明会の開催　申込受付中

・5/23（土）14:00～15:30　東区プラザ　<終了>
・5/26（火）19:00～20:30　古町ルフル　<終了>
・6/ 5（金）14:30～16:00　内野まちづくりセンター
・6/ 9（火）14:30～16:00　白根学習館
・6/14（日）10:00～11:30　豊栄地区公民館

秋頃、生徒募集を開始予定

お近くに「夜間中学のことを知らせたい」という方がいらっしゃいましたら、
夜間中学のことをご紹介いただければ幸です。

16

16

令和9年４月　新潟市に夜間中学開校予定

県内初の公立夜間中学

新潟市立新星中学校

学校説明会

新潟市が設置する夜間中学の概要や生徒募集の予定について説明します。個別相談もできます。

夜間中学のことを知らせたい方にもぜひお知らせください

対象

- 夜間中学への入学を考えている方
- 身近に夜間中学を紹介したい人がいる方
- 福祉や不登校支援、外国人支援などの関係機関の方
- 夜間中学に関心のある方 など

第１回	第２回	第３回	第４回	第５回
5/23（土） 14:00～15:30	5/26（火） 19:00～20:30	6/5（金） 14:30～16:00	6/9（火） 14:30～16:00	6/14（日） 10:00～11:30
東区プラザ ２階 講座室２	古町ルフル ４階 401会議室	内野まちづくり センター 3階 研修室２	白根学習館 ２階 ルーム１	豊栄地区公民館 （北区役所３階） 視聴覚室
定員36人	定員30人	定員30人	定員30人	定員28人

申し込みについて

申し込み方法は裏面をごらんください

[申込期間] 4/22（水）から説明会の２日前まで

新潟市教育委員会 教育総務課
夜間中学開設準備室
電話：025-226-3180

最新情報はこちら▶

夜間中学とは

夜間中学は、様々な理由により、義務教育を修了しないまま学齢期を過ぎた方や、不登校などにより、十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方などに対し、学びの機会や学び直しの機会を提供する学校です。
新潟市では、令和９年４月、県内初の公立夜間中学を開校します。

申込方法

次のいずれかの方法で申し込んでください

インターネットで申し込む

右の二次元コードからアクセスしてしてください▶▶▶

ファックスで申し込む（この用紙を送ってください）

FAX番号　025-226-0030

電話で申し込む

電話番号　025-226-3180

ふりがな	
お名前	
電話番号	
希望する回 （○をつけてください）	第１回・第２回・第３回・第４回・第５回
個別相談の希望 （○をつけてください）	希望あり　・　希望なし

FAX　025-226-0030